令和３年度

第１回
庄内町総合教育会議

議　事　録

令和３年10月27日

庄内町教育委員会

令和３年度　第１回　庄内町総合教育会議　議事録

１　会議日程　　令和３年10月27日（水）
　　開会　　午前９時30分
　　閉会　　午前11時11分
２　会議場所　　庄内町役場　B棟　入札室
３　内　　容
　１　開　会
　２　あいさつ
　３　協　議
　（１）教育行政にかかる課題について
　（２）その他
　４　閉会
４　出席者（構成員）　庄内町長　富樫　透
　教育長　佐藤　真哉
　教育委員会委員　梅木　均（教育長第一職務代理者）
　教育委員会委員　太田　ひろみ（教育長第二職務代理者）
　教育委員会委員　齊藤　雅子
　教育委員会委員　飯渕　義晃
　（職員）　総務課長　佐藤　美枝
　（事務局）　教育課長　佐藤　秀樹
　社会教育課長　鶴巻　勇
　教育課長補佐兼教育総務係長　佐藤　正芳
　社会教育課長補佐兼社会教育係長　阿部　浩
　教育課指導主事　髙橋　一枝
　教育課指導主事　富山　裕二
　教育課主査兼学校教育係長　渡部　恵子
　教育課主査兼教育施設係長　日下部洋一
　教育課主査兼学校給食共同調理場所長　荒木　美紀
　社会教育課主査兼文化スポーツ推進係長　堀　純子
　社会教育課主査兼図書館係長　佐藤　晃子
５　欠席者（構成員）　なし
６　傍聴人　　なし

開　会	（午前９時30分）
町長	（あいさつ）
町長	それでは、さっそく３協議に入りたいと思います。協議（1）令和３年度から７年度までの庄内町教育大綱について皆様から御意見あればお願いします。
梅木委員	このコロナ禍の中で新しい生活様式というものを反映していかなければならないのか、反映するとすればどのような形になるのかと思います。
太田委員	学校の適正規模・適正配置審議会が12月から開始されますが、その中で新しい課題が多く出てくると思います。それについては、教育大綱という形というよりは、毎年の課題として次年度の計画を立てていく方向が良いと思います。

齊藤委員	青少年育成の中で、年配の方々は頑張っていますが、どうしても若い 20、30、40 代の方々が積極的にかかわっていない気がしています。
町長	地域の役員が高齢化していては次に繋がらないので、コミュニティスクールを含めて、まちづくりセンターを核にしながら各地域で次の世代へのバトンタッチができれば良いと思っています。
飯渕委員	少子化により子供たちの友達の範囲が少なくなっています。今後、進学や就職などで大規模なコミュニティへの対応ができるか不安なところもあります。
町長	教育大綱については、見直しなしでよろしいでしょうか。
	（異議なし）
町長	では次に梅木委員から提案のありました「町長が描く教育を取り巻く課題」について説明をお願いします。
梅木委員	昭和 62 年に発行された「余目町の教育」の中で、旧余目町が学校再編を実施するのに 15 年かかったという記事を読みました。その時の状況とは少し異なるとは思いますが、今回の学校再編もかなり時間がかかるのではないかと感じましたので今回の議題としたところです。
教育課長	（資料に基づいて補足説明）
町長	適正規模・適正配置審議会委員の概要はどうなっていますか。
教育課長補佐兼教育総務係長	委員ですが 17 名予定しています。保育園、幼稚園、小中学校の保護者、代表者が各 1 名、学校運営協議会から各 1 名、識見を有する者が 2 名、公募が 1 名となっています。
飯渕委員	立川地域の児童生徒数がどんどん減少しています。文化祭や体育祭なども実施するのが困難な状況です。
町長	今、立川地域はかなり困難だという話がありましたが、この審議会では学校の数や場所も決定するのですか。
教育課長	今回の審議会では、2 カ年間で町の基本方針決定までを予定しています。そのため、具体的な内容までは審議しない予定です。
町長	具体的な内容はどこで決定する予定ですか。
教育課長	審議会で出てきた意見を教育委員会で検討し、町の基本方針として決定します。その後、統合準備委員会的な組織を立ち上げて、具体的な内容については、そちらで検討する予定となっています。
梅木委員	これは幼稚園も含めた学校の適正規模・適正配置ということで進めていくのでしょうか。幼稚園のこども園化なども一緒に考えていくということでしょうか。
教育課長	今回の審議会は学校を対象としたものではありますが、当然、幼稚園についても話題になるものと思っています。小学校を統合する場合においては、幼稚園にも手をつけざるを得ないと考えています。
太田委員	今回のアンケートの数字を見る限りでは、校舎の老朽化などもあり、概ね小学校の統合には賛成なのかと思います。ただ少数ではありますが、反対意見もありますので、基本方針が決定した後に、町の方でリーダーシップを取っていく必要が出てくると考えます。
町長	それぞれの地域に対しての配慮というか、その理解を得られるような議論が必要になってくると思います。審議会は 7 回開催して、基本方針案を決めていただくということで良いですか。
教育課長	令和 5 年度に開催予定です。

町長	あと、今後実施するアンケートというのは全員ですか。
教育課長	保護者以外の町民の方からは 1,000 人抽出し、保護者の方からは小学生以下の子どもがいる実世帯数を予定しています。教職員も全員です。
飯渕委員	町民の1,000人抽出というのは何か根拠がありますか。
教育課長	統計学上の理由です。また、保護者世帯は、1,000世帯程度となります。
飯渕委員	民意を問うという意味では、もう少し対象を増やしても良いのではないでしょうか。実際に自分の母校が無くなってしまうという人も多くいると思います。
町長	回答率もあるかとは思いますが、できれば全世帯から答えて貰えたら良いと思います。それでは、この問題については今後も皆様からいろいろと御意見をいただきますので、次の給食費の保護者負担軽減に移りたいと思います。事務局資料の説明をお願いします。
学校給食共同調理場所長	（資料に基づき説明）
町長	子どもたちや保護者の方から、給食に関して何か要望は寄せられていますか。
学校給食共同調理場所長	年に 1 回給食運営委員会を実施しておりますが、給食は値段が安くて助かるという声は頂いております。また、家では食べられないメニューなどもありがたいという声もございます。
町長	昔、給食記念日があって凄く楽しみにしていた記憶がありますが。今は、そういうのはあるのですか。
学校給食共同調理場所長	給食記念日という日はありませんが、例えばクリスマスなどはデザートにケーキを出したりしています。また、南三陸友好献立として、ワカメ、銀鮭など南三陸町の特産品を年に3回企画しています。
梅木委員	給食の無償化については、資料を見ていろいろな形があることがわかりました。給食運営費の歳入と歳出額に差があるのはなぜですか。
学校給食共同調理場所長	給食運営費としての歳入は、保護者からの給食費等であり、それ以外は一般会計のため差額が生じます。
町長	現状でも 1 億円ほど町からの持ち出しがあります。小規模な自治体であれば、一定対応は可能かもしれませんが、本日は頭出しとして今後の課題にして皆様方からもご意見をいただけばと考えます。 次に齊藤委員から「子供たちの生きる力をのばすには」ということで、議題をいただいていますので、齊藤委員よろしくお願いします。
齊藤委員	庄内町の子供たちは、家庭でも温かく育てられていて優しい子供が多いのですが、どうしても自分から発信する力、逞しい力が不足しているように感じます。子供たちが横並びのように見えてしまって、上を目指して頑張るといった力をつけていくにはどうしたら良いのかという提案理由です。
太田委員	勉強でもスポーツでも目指すところが見つかれば、子どもたちは頑張れると思います。ただ、目指すところが見つかってない、見つけづらいということがあるのかなと思いました。
町長	以前は立川地域でスキー教室とか登山とかあったと思うのですが。
飯渕委員	スキー教室は指導する人が少なくなって無くなりました。
齊藤委員	余目でも以前親子行事で月山登山がありましたが、危険という声があがってきて中止になりました。年々、親子行事も短時間で安全なものに代わってきています。

町長	先ほど太田委員からあった子供たちが目標を見つけやすい環境づくりが必要になってくると思いますので、生きる力というのは自ら体験して、小さな成功体験の積み重ねが自信となり、新しい目標を生むことになってくるのだと思います。 この課題に関しても、すぐに答えの出るものではないですので、情報共有などをしながら今後も検討課題としていきます。
閉会	（午前11時11分）